

新たな魅力発信

南三陸
ホテル観洋

好評の星空観察会50回



宿泊客が潮風を受けながら星空を楽しんだ(6日)

南三陸ホテル観洋で毎月開かれている、星空観察会「スターパティー」が好評だ。屋上を宿泊客以外にも開放し、天体望遠鏡で季節の星座などを楽しんでもらう企画で、6日には50回を達成した。「南三陸の星空」を、自然豊かな町の新たな魅力としてPRしている。

「星空がすごくきれい」「僕にもはつきりと見えた」。春と冬の大三角形、月のクレターをテーマにした6日の観察会は、家族連れなどの宿泊客が歓声

を上げた。はしゃぐ姿を見て、講師やホテルスタッフも楽しそうに運営していた。

観察会は、復興途上でまちの明かりが少ない中でも、町民や宿泊客の心が「明るく」なるイベントを1と、2017年1月にスタート。環境省の星空継続観測地点にも登録した。

初めは約2カ月に1回だったが、平均40人

前後、多い時は100人と好評だったことから、毎月開催にした。

人気の理由の一つは講師陣。町外から天文ボランティア団体の代表、理科を教えたきた元中学校長、「星のソムリエ」の有資格者ら5人が、基本から専門的な話まで分かりやすく伝える。

季節の星座、流星群、惑星などがきれいに見える日に開催する

【三陸新報】

2022年4月9日